

# 平成19年度 関東高等学校女子バスケットボール大会

平成19年6月9日(土)

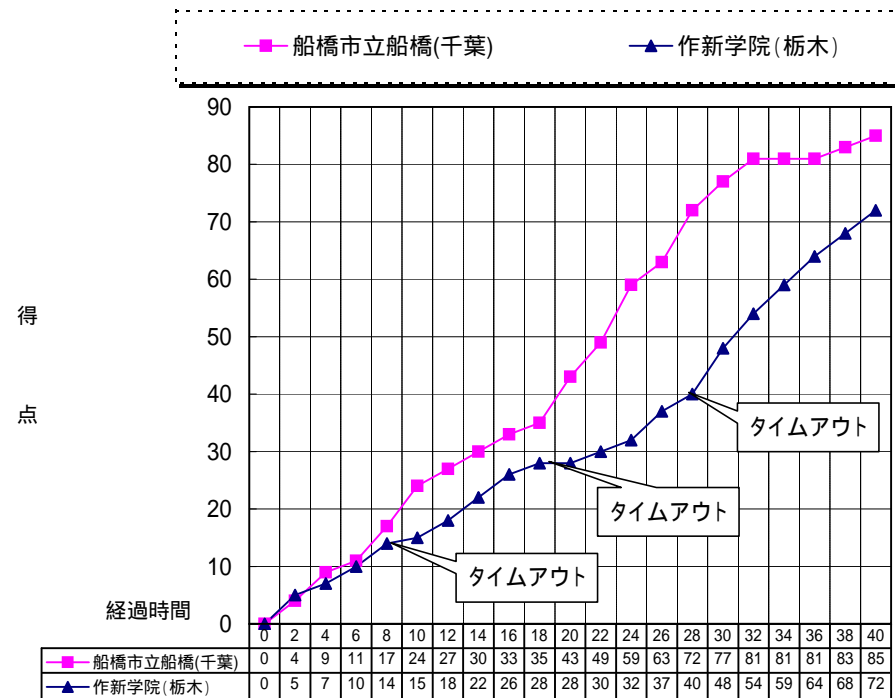
【女子】準々決勝 鐘山スポーツセンター総合体育館 Cコート 第5試合

船橋市立船橋(千葉)	85	$\left. \begin{array}{l} 24 - 15 \\ 19 - 13 \\ 34 - 20 \\ 8 - 24 \end{array} \right\} 72$	作新学院(栃木)
------------	----	---	----------

船橋市立船橋(千葉)			コーチ 中村 幸一													
番号	氏名	得点	3ポイント		2ポイント		フリースロー		ファウル	リバウンド			アシスト	スティール	ブロック	ターン
			成功	試投	成功	試投	成功	試投		DF	OF	計				
4*	田山 彩花	16	2	6	5	11	0	0	2	2	3	5	3	2	0	2
5*	船根 礼央那	18	4	6	3	12	0	0	2	4	1	5	3	1	0	1
6*	染野 美樹	17	1	3	6	10	2	2	3	8	4	12	2	3	1	3
7*	恩田 芽維	10	2	5	1	5	2	2	1	3	3	6	1	2	0	0
8	山崎 真実	4	0	3	2	3	0	0	3	0	1	1	1	4	0	0
9	嶋崎 舞	0	0	1	0	2	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0
10	鈴木 成美	0	0	1	0	1	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0
11	山岸 未樹	0	0	2	0	3	0	0	0	1	0	1	0	0	0	0
12	浅野 優	0	0	1	0	0	0	0	2	0	0	0	0	0	0	1
13	徳丸 景子	2	0	0	1	1	0	0	2	1	1	2	0	1	0	0
14	原田 小巻	8	0	1	4	4	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
15*	齋藤 真菜	2	0	0	1	2	0	0	4	4	4	8	3	0	0	5
16	花島 智美	2	0	1	1	4	0	0	0	1	3	4	0	1	0	0
17	森 この実	4	0	7	2	6	0	0	1	2	0	2	1	0	0	2
18	横山 真理	2	0	2	1	3	0	0	2	0	2	2	0	0	0	0
チーム		0								5	2	7				0
合計		85	9	39	27	67	4	4	23	31	24	55	14	14	2	14
*:スターティングメンバー			確率	23.1%	40.3%	100.0%										

作新学院(栃木)			コーチ 渡邊 諭													
番号	氏名	得点	3ポイント		2ポイント		フリースロー		ファウル	リバウンド			アシスト	スティール	ブロック	ターン
			成功	試投	成功	試投	成功	試投		DF	OF	計				
4*	小川 由希	9	0	0	3	8	3	7	3	2	2	4	3	1	2	3
5*	久谷 央	15	2	8	3	16	3	6	0	1	0	1	3	0	0	5
6*	関口 千尋	3	0	1	1	3	1	2	5	1	0	1	1	0	0	1
7*	大坪 友紀	7	0	0	3	6	1	2	3	6	0	6	1	0	0	2
8	黒崎 唯里	15	0	2	5	10	5	5	2	2	0	2	1	3	0	3
9	五十嵐 由貴	2	0	1	1	2	0	0	0	2	0	2	0	1	0	0
10	坂本 七瀬	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	1	0	0	0	0
11	松本 麻紀	4	0	0	2	4	0	0	1	0	2	2	0	0	0	1
12*	鳩 貝 望	5	1	2	0	4	2	2	0	0	0	0	0	0	0	0
13	高橋 春奈	12	3	6	1	2	1	2	2	1	1	2	2	4	0	2
14	砂川 彩華															
15	三宅 彩香															
16	大内 瑠華															
17	吉原 絵里子															
18	柴田 智広															
チーム		0								1	2	3				1
合計		72	6	20	19	55	16	26	16	17	7	24	11	9	2	18
*:スターティングメンバー			確率	30.0%	34.5%	61.5%										

## 2分毎による得点の推移



## 戦評

プレースタイルの似た両チームであったが、軍配は市立船橋に上がった。  
 1Qは両チームとも激しくプレッシャーをかけるハーフコートマンツーマンで始まる。リバウンドやルーズに上回る市船は冷静に試合運び、徐々にリードを広げる。中でも市船 染野は3Pシュート・ペネトレーションと活躍。24 - 15で市船リード。2Q、作新はフルコートマンツーマンで激しくプレッシャーをかけるとともに、黒崎・松本らのシュートで追い上げを見せるが、市船 船根の連続3Pで差はなかなか縮まらない。市船はファウルがかさんだセンター 齋藤が3分でベンチに戻る。しかし、全員がコート内を縦横無尽に走り回り、作新のディフェンスを粉碎。前半を43 - 28市船リードで折り返す。  
 3Qでは両チームともスピードある展開に持ち込み、点の取り合いとなる。このQだけで34 - 20のハイスコアゲームとなった。4Qに入ると作新の猛追が始まるが、85 - 72で終了のブザーとなる。

主審 小澤 勤 (本部)

副審 渡辺 信也 (山梨)

記入者 仙洞田 一郎 (高体連)